

## 議会運営委員会行政視察報告書

議会運営委員会の行政視察を実施した結果について、下記のとおり報告いたします。

### 記

- 1 期 日 令和5年11月7日（火）～ 8日（水）
- 2 視 察 地 東京都町田市、東京都東村山市
- 3 目 的 (1) 東京都町田市議会  
「議会改革（活性化）の取り組みについて」  
(2) 東京都東村山市議会  
「議会改革（活性化）の取り組みについて」  
「政策研究会について」
- 4 参 加 者 荒 木 春 吉 伊 藤 正 彦 佐 藤 耕 治  
後 藤 健一郎 渡 邊 賢 一 古 沢 清 志  
柏 倉 勝 郎（議会事務局）
- 5 視 察 概 要 別紙のとおり

令和5年11月30日

議会運営委員会  
委員長 荒 木 春 吉

寒河江市議会議長 柏 倉 信 一 殿

## 東京都町田市の視察概要

### 1 町田市の概要

町田市は、東京都の最南端に位置しており、人口約43万人で、都内では東京23区、八王子市に次いで3番目に人口が多く、東京都のベッドタウンとしても知られている。都心にも行き易く、緑豊かな自然に触れ合うことができ、「都会と自然のバランスがちょうどいい」とファミリー層を中心に「住みたい街」として注目が集まっている。最近では、サッカーJ2リーグで町田ゼルビアが優勝し、J1昇格を決め、スポーツの面でも注目されている。2022年総務省発表の統計で、年少人口増加数では、政令指定都市を除いて全国第1位となっており、政令指定都市を含めても全国第2位である。また、市議会においては、早稲田大学マニフェスト研究所が実施している議会改革度調査では、13年連続で都内1位となっている。全国では6位から23位になったが、議会基本条例を制定していなくても6位という上位であった。下落の要因は、委員会のオンライン化が出遅れたことと分析している。今春3月、オンラインで実施可能な環境が整ったことから、今後のランクアップを目指している。

### 2 財政の状況

(1) 令和5年度一般会計当初予算	168,426,481千円
(2) 自主財源	86,777,832千円(51.5%)
(3) 依存財源	81,648,649千円(48.5%)

### 3 議会改革(活性化)の取り組みについて

#### (1) 議案のカルテ

平成23年3月定例会より、議会ホームページにおいて「議案のカルテ」を掲載し、いち早く市民に議会の審議・審査内容を報告している。このカルテには、議案名、議案の概要、委員会審査の内容や議決結果が分かるよう記載されている。「議案のカルテ」については、市民から、会議録の速報版は出せないかとの要望がきっかけで、ホームページ掲載に至った経緯がある。これまで、正式な議事録を公開するまでには、非常に時間を要していたことから、住民にとっては、議会の現在の動きが把握できるようになった。

#### (2) 請願者の意見陳述

平成21年9月定例会から、請願者の希望により、請願者の意見陳述を委員会開催中に行えるようにしている。意見陳述の実施状況としては、令和4年が請願11件中9件、令和5年は15件中12件実施しており増加傾向にある。請願者に直接聞けることから、継続審査が減るという効果がみられる。

#### (3) 高校生との意見交換会

市民意識調査の結果から、若者の市議会に対する関心度が低いことに加えて、選挙権年齢が18歳以上に拡大されたことを踏まえ、議会を身近に感じてもらうことを目的として、平成29年11月から実施している。運営主体は議会運営委員会であり、意見交換の対象としては、市内在住又は

市内高校に通学している学生としている。第3回目からは、ワールドカフェ方式に開催方法を改め、これまで計6回を数え、幅広い観点から意見交換を実施している。

#### (4) 常任委員会のインターネット中継

平成24年9月の定例会より開始しているが、ネット中継されていることを意識して発言していることもあり、大きな問題は発生していないものの、誤発言等による中断が多い状況である。また、ネット中継は、カメラとマイクが連動した自動追尾システムを導入していることから、事務局職員による、発言者の切り替え操作は不要となっている。

#### (5) 電子表決

議員席の表決ボタンは、賛成と反対の2つのみで、棄権は設置していない。棄権の意思表示をする場合は、退室することを申し合わせている。議案に対する賛否については、モニター掲示板に瞬時に表示され、各議員の表決が分かり、間違いが無いように配慮されている。従前の採決では、前列に座る議員は把握し難かったが、電子表決の導入により、前列に座る議員も後ろを振り返ることなく、賛否結果が把握できる。

## 東京都東村山市の視察概要

### 1 東村山市の概要

東村山市は、首都の都心部近郊の住宅都市として発展を続け、人口は15万人を超え、微増傾向で推移している。トトロのふるさとである八国山や北山公園、国立ハンセン病療養所多摩全生園の「人権の森」などの「みどり」、人情味豊かな市民同士の「ふれあい」、多摩地区で唯一の国宝建造物である正福寺千体地蔵堂などの文化遺産が伝える「歴史」にあふれている。市内に9つの駅を擁し、都心へも短時間でアクセス可能な「利便性」の高い生活都市として成熟している。市議会での男女構成比率をみると女性が25名中10人で4割を占めており、改選前は、今よりもさらに2名多く、全国の市議会の中で最も女性が多い市議会である。

### 2 財政の状況

(1) 令和5年度一般会計当初予算	64,257,669千円
(2) 自主財源	29,257,802千円(45.5%)
(3) 依存財源	34,999,867千円(54.5%)

### 3 議会改革(活性化)の取り組み及び政策研究会について

#### (1) 議員研修

全議員を対象とした研修会については、議会運営委員会が所管しているが、ここ数年は、各委員会が所管事務調査として行う研修が増えており、それぞれの委員会が所管している。予算措置については、講師を1回依頼できる予算のみの計上であるため、議員有志のカンパで実施したこともある。

#### (2) 議会基本条例の検証

当該条例の検証については、議会基本条例で議会運営委員会が実施すると明記されている。特別委員会と議会運営委員会のどちらでやるべきなのか議論されたが、同委員会が実施するに至った理由としては、各党派からバランスよく人数が選出され、構成されているからである。議会運営委員会では、目前の課題も議論する必要があることから、煩雑になることが懸念されているが、今後も議会運営委員会で検証を行う。

#### (3) 姉妹都市との交流

平成8年に、東村山市が柏崎市との姉妹都市の締結をし、同時に議会との相互交流が始まっている。お互いに議会での改革事例などを紹介しながら研修や視察等を行っているが、市有施設や名所等も限られていることから手詰まり感がある。予算措置については、議員全員分の旅費のみ計上している。

#### (4) 政策研究会

政策研究会は、東村山市議会基本条例第13条の規定に基く組織であり、議会としての政策提案や立案機能を強化するため、超党派の議員により、緊急性のある課題等について調査・研究を行う

ものである。政策研究会には、強制力が無いにもかかわらず、会派や政党を超えて、問題意識を共有する議員が参集している。最低限のルールとして、複数の会派で組織し、尚且つ5分の1以上（5名以上）の議員が参加し、テーマは行政に関わることとしている。政策研究会では、委員会・会派を越えた議論が行われ、これまで実施したテーマとしては、下記のとおりである。

- ①いじめで泣く子を出さないために
- ②東村山市のごみ処理行政について
- ③ハンセン病療養所多磨全生園の将来構想に市議会は何ができるか